

平成19年度第7回（10月）理事会議事録案

- ◇ 日 時：平成19年10月11日（木）午後6時35分～7時41分
- ◇ 会 場：社団法人大阪府臨床検査技師会事務所
- ◇ 出席者：森嶋、今井、運天、吉本、大垣、清水、荒木、田畑、高橋、井戸田
北中、山田、酒井、宮野、東野、村上、事務（岩崎、仲野）
- ◇ 欠席者：高田、出野、神農
- ◇ 議 長：森嶋

【 討議内容 】

I. 行動報告（9月分）

- 9月4日 第1回臨床検査データ標準化作業部会
森嶋、運天、荒木
- 8日 日臨技認定一般検査試験ワキンググループ委員会
今井
- 9日 茨木健康展
田畑、
- 12日 JICA 西アフリカ臨床検査研修基礎実習
今井
- 13日 理事会・第47回近畿医学検査学会実行委員会
森嶋、今井、運天、吉本、田畑、井戸田、竹浦、荒木、山田、大垣、
清水、酒井、神農、出野、北中、高橋、宮野、東野
- 16日 大阪大学医学部保健学科
森嶋
- 19日 総務部会
運天、吉本、荒木、山田
- 20日 情報組織部会
井戸田、酒井
地区事業部会
田畑、高橋、出野、
- 22日 近臨技理事会
森嶋、今井、東野、荒木、運天
日臨技地区連絡協議会
森嶋、今井、東野、荒木、運天
- 26日 常務理事会
森嶋、今井、運天、吉本、高田、荒木
- 28日 JICA 西アフリカ臨床検査研修中間レポート報告会
森嶋、今井
- 29日 大阪医療技術学園専門学校
田畑、
学会事務局庶務部会

II. 経過報告

1. 日臨技

- ・ 厚生労働省に診療報酬要望書を提出。
- ・ 日臨技共済公益目的事業の所管部は、組織制度・財政経理部とし、申請に対し基準に沿った取り扱いを行う。
- ・ 平成 19 年度日臨技臨床検査精度管理調査参加施設 (3,312 施設) に施設別報告書、総括統計表、参加証を送付した。
- ・ 55 周年記念の技師会史の都道府県技師会活動経過及び地区技師会活動経過の執筆を依頼した。

(各施設に 1 部配布予定)

2. 近臨技

9 月 22 日開催

近臨技理事会と第 1 回近畿地区連絡協議会を行った。

- ・ データ標準化事業について、各府県から進捗状況報告があった。(11/25 学会にて連絡会議を行う)
- ・ 大阪より第 47 回近畿医学検査学会の進捗状況報告があった。
- ・ 兵庫より第 48 回近畿医学検査学会の概要報告等があった。
- ・ 平成 22 年度日臨技医学検査学会担当について、奈良、和歌山より開催企画提案があり投票の結果、和歌山県が担当することとなった。
- ・ 近畿検査技師会学術研修会資料に沿って報告。
- ・ 日臨技会長に小崎氏、副会長に才藤氏、富永氏を近畿として推薦する。
- ・ 日臨技特別指定事業開催企画書についての説明があった。(臨床検査を啓発する事業)
- ・ 平成 20 年 2 月 10 日近臨技主催のチーム医療の研修会を行う。

3. 事務局

〈総務部〉部会開催 (9 月 19 日)

- ・ 9 月理事会開催準備を行った。
- ・ 第 47 回近畿医学検査学会の進捗状況について説明した。
- ・ 学会プログラムの校正をした。
- ・ 他団体との HP 相互リンクについて検討した。
- ・ レンタルサーバー継続利用について討議した。
- ・ なにわ塾ネットの掲載文書について討議した。

〈会計〉

- ・ 7 月度収支計算書を作成。

〈広報〉

- ・ 大臨技ニュース 9 月号発行した。
- ・ 大臨技ホームページおよび近畿学会ホームページを更新した。

〈渉外部〉部会開催 (9 月 18 日)

- ・ 手話講習会の進捗報告。

日時 : 12 月 1 日 13 : 30 ~

場所 : 阿倍野区民センター

- ・ 近畿学会の状況説明をした。

4. 事務局

〈情報組織部〉部会開催（9月20日）

- ・ 新入会員研修会の反省会を行った。
- ・ 平成20年2月16日の技師長会について討議した。（講師、内容の検討）

〈地区事業部〉部会開催（9月20日）

- ・ 会員交流会に関して討議した。（市民公開講座）

日時：平成19年10月21日（日） 10：00～16：30

場所：国際協力機構大阪国際センター 国際会議場

- ・ JICAをNHKが取り上げ、デジタルの掲示板の掲載の依頼を受けた。

〈学術部〉部会開催（9月22日）

- ・ 学会運営に関して検討した。
- ・ 特別企画に関しての打合せをした。
- ・ 近臨技学術部研修会の取り決めについて検討した。
- ・ チーム医療の現状と再編に関して討議した。
- ・ 学術講演会に出席依頼した。
- ・ 事務所の使用に関して意見交換をした。

III. 府民健康フォーラムについて

“私たちの暮らしと薬・検査・栄養”

日時：平成19年10月20日（土） 14：00～17：00

場所：毎日新聞オーバルホール B1F

収容人数：480名

IV. データ標準化作業部会報告

- ・ 10月6日に第2回作業部会が行われた。
（具体的方針提案、検討事項に沿って意見交換）

議題 1.地域精度管理試料・・・市販コントロール・自家製試料プール血清・サーベイ試料・各施設使用の管理血清等について討議を行った。

2.集計方法・経費試算・・・プール血清作製費用及び輸送方法等について討議した。

3.大阪府医師会との協働・・・医師会サーベイとの連携・施設への広報、協力要請等について討議した。

4.基幹施設と地域内施設との関係・・・各施設の把握の為のアンケート実施、教育、啓蒙、問題施設の原因究明、指導等について討議した。

5.平成21年度以降の方策について討議した。

- ・ 次回第3回作業部会が11/10に開催
データ標準化作業実施案について、とりまとめをする。

V. その他

理事会議事録案について、各理事においてもチェックを確実にする。

【 議 題 】

I. 事務所移転について

今後の状況、研修会会場確保等の長期的な意味合いを考えて結論を出す。

学術部の意見を重視する。（11月の理事会に持ち越し）

II. 平成 20 年度事業計画、予算案について

来年度は、データ標準化・職域部会等の事業予定の為、担当部署で現事業とのコラボ的な事業を検討し各部署において今年度同様の節約予算立てをお願いする。

12月の理事会に提出する。

III. チーム医療再編について

情報組織部の管理化にチーム医療をおき、今後、管理者と技術者がお互い協力し共有するように進めていく。

(日臨技と近臨技は、チーム医療を管理と合体して動いている。)

来年は、試行的に再編していく。

IV. その他

厚生労働大臣表彰の候補者に、辻義則氏〈結核予防会大阪府支部相談診療所〉、森嶋祥之氏〈近畿大学医学部付属病院〉、吉本勝美氏〈仁真会白鷺病院〉を推薦する。